

2010-11年度 国際ロータリーテーマ



地域を育み、大地をつなぐ

会 長 岡島達雄  
副会長 中武泰一郎  
幹 事 武末喜久治  
例会日 毎週木曜日 12:30～  
例会場 ホテル泉屋 2F  
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4  
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第1694回 平成23年6月2日プログラム

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 1. 点 鐘                   | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング<br>君が代・奉仕の理想 | 8. BOX 披露    |
| 3. ビジター・ゲスト紹介            | 9. 各委員会報告    |
| 4. 会長の時間                 | 10. 外部卓話     |
| 5. 幹事報告                  | 11. 次週例会案内   |
| 6. 出席報告                  | 12. 点 鐘      |

2730地区ガバナー 伊藤 学而  
中部分区ガバナー補佐 岩切 昇

### 2730地区テーマ

クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう

### 高鍋ロータリークラブテーマ

品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求にこたえよう

### 6月の月間テーマ

ロータリー親睦活動月間

### 本日の例会案内

- ・月初めのセレモニー（誕生日1名、結婚記念2名）
- ・外部卓話—佐々木史郎様（防災講座）
- ・米山ランチ

### 次週の例会案内；6月9日（木）1695回例会

- ・クラブ協議会（年間報告）
- ・血圧測定

## 第1693回 例会内容

### ■会長の時間

会長 岡島達雄君

#### ダイヤモンド

今日はゲストに、先月からわがクラブがスポンサーとなった米山奨学生の汪 南雁（オー・ナンガン）さんをお迎えしています。

後ほどスピーチをしていただきます。

さて先週は、柔らかくあったかですべすべした「やわ肌型材料」の話をしました。今日は、やわ肌と対照的なダイヤモンド型材料の話です。

皆さん、ダイヤモンドの魅力は何かご存知でしょうか。美しい輝き、硬さ、そして希少さ、です。この3つのため宝石として価値が高いのです。ダイアの組成は炭素であり合成できることもよく知られています。しかし合成ダイアの粒は大きくなくその上美しくありませんが、最も硬い物質であることから研磨剤として使われます。

そういうダイアで、あまり知られていない性質があります。それはあらゆる物質の中で熱伝導率が最も高い、言い換えれば最も熱を伝えやすいのです。もし温度20度の巨大なダイアがあったとしたら、それは触って最も冷たい物体だということです。大量の熱が人からダイアに移動します。しかしそんなダイアはなく、せいぜい豆粒程度のものですから、36度の人間が20度のダイアに触ると、ダイアはすぐに温められ体温と同じになって人からダイアに熱は伝わらなくなり、冷たくは感じません。

我々が常に身につけているダイヤモンド型材料は、硬いのですから滑らかでないと肌を傷つけます。また接触面積が大きいと熱を奪いますから小面積。そういう意味で身の回りをみますと、金属の時計、ネックレス、指輪、またコンタクトレンズや入れ歯、いずれも単独だと硬くて冷たく平滑なものばかりです。

常時肌につけないダイヤモンド型インテリア材料には、タイル、ステンレス、硬木のフローリング材などがあります。

### ■幹事報告

幹事 武末喜久治君

\*6月のロータリーレート 1ドル=82円

\*会員維持数調査について

\*財団恒久基金寄付に関する変更事項について

\*ガバナー月信最終号（第13号）原稿作成のお願い

「クラブにおける本年度の主な行事」240文字以内

\*佐土原ロータリークラブより6月例会案内

\*西都ロータリークラブより6月例会案内



米山奨学生 汪 南雁さん

◆会員卓話

中武泰一郎君



墨は中国で生まれ、日本では、8世紀初頭に作られた「大宝律令」が国産の墨が製造された事を伝えています。

奈良時代の墨は「松煙墨」で、鎌倉時代にはいり「油煙墨」の製造が始まりました。江戸時代に入り、各地で製造が行われましたが、奈良に優秀な職人が集った為に、奈良がその中心地となったようです。

「墨」は古くなる程良くなります。人間と同じで、年数を重ねながら幼年期～壮年期まで日々成長していきます。

\*幼年期 製造後1年～3年。墨質・墨色も生々しく日々に変化していきます。

\*少年期 製造4年～7年。墨に落ち着きと個性が現れ、確立されます。

\*青年期 製造後8年～15年。保存の仕方にもよりますが、厚みが増し、淡墨の場合、芯とニジミの差がはっきりと現れ始めのびもよくなります。

\*壮年期 製造後16年以上。一番働き盛りで、硯当たりも軽く。筆使いに抵抗が和らぎ、年ごとに培った特徴が顕著になり、墨色・のびとも一層よくなります。

\*老年期 何年後とは言えませんが、枯れたさびのある色。透明度があり厚みのある墨色。芯とニジミの差が壮年期以上に明確になります。ただ、この成長も墨の大小・厚み・保管場所によって違いが生じます。保管に仕方によっては成長が止まってしまう事もあります。

◆会員卓話—ロータリーの知恵

岩村文夫君



ロータリーの精神については、私達もよく聞かされていて或る程度のことは分かっています。奉仕の精神は、ロータリーの専売特許ということではないのはいうまでもありません。論語にも「先儀後利」の言葉があるそうです。この言葉、ロータリーの説く思想と変わりません。つまり東洋にも同じ思想があったと思います。

私がロータリーについて感じるのは、この精神をより普及するのに、仲間を集めて組織を作ったことにあります。この点が東洋と西洋の人の考え方の違いかなとも思います。

もう一つは、この組織を永続させるためのロータリーの知恵についてです。例えば、会長の一年任期制、会費

の全員同額制、かつては存在した同一業種一人制、政治、宗教を話題・テーマに取り上げないこと、等。また、新入会員の時に勉強させられた、パストガバナーの著書「ロータリー入門書」の中の言葉で、「ロータリーにヒーロー不要」という言葉です。

つまり、これらの約束事、また言葉の中に流れている思想には「会員平等」を思います。素晴らしい知恵だとも思います。この中で、私達はロータリーの歌の一節にもある「平和親睦」を感じるのではないのでしょうか。暖かさ、そして、むくもりです。最近のいろいろな改革が考えられている中でこんなことを感じるがあります。

◇地区協議会報告—クラブ奉仕部門

図師義孝君

午前の本会議、場所を移して南九大でフェロシップ委員会と合同でありました。貫禄のある尾崎敏弘さんと一緒に安心でした。ここに出席の方は、将来会長になれる人です から始まり管理運営委員長に対しクラブを活性化するため、小委員長と十分な打ち合わせを行いクラブの方針を反映するよう頑張ってくださいの言葉に、すぐそこまで来たんだと頭が痛い今日この頃です。

◆出席報告

出席委員会 向山健一君

出席状況

会 員 数	40名
出席会員数	28名
ホーム出席率	71.79%
前々回の修正出席率	85.00%



出席報告 向山君



BOX披露 長谷川君

◆BOX披露

親睦活動委員会 長谷川修身君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

岡島達雄君 米山奨学生、汪 南雁さんを歓迎します。

石田喜克君のご快癒をうれしく思います。

茂木 晃君 米山奨学生、汪 南雁さんを歓迎して。

石田喜克君 大変長らく欠席して申し訳ございませんでした。右上腕二頭筋を切断して修復に時間がかかりました。右手を貸して頂ける方を探しております？木浦亨英君 先週の歯車会ゴルフコンペ楽しく過ごす事ができました。又、景品にお米までご利用下さいました事を心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

日高 茂君 3年振りのゴルフ無事ラウンドできました。ご迷惑をおかけ致しました。次回は、頑張りたいと思います。

藤本範行君 米山奨学生の汪さんをお迎えして。

ようこそ高鍋ロータリーへおいで下さいました。